



<b>事業名</b>	<b>～子どもが自分の時間を確保するために～ ヤングケアラーへ家事や通訳の支援を行います</b>
------------	------------------------------------------------------

<b>ここがポイント</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ヤングケアラーのための配食支援は23区初の取組です。</li> <li>◆家事、兄弟姉妹の世話、家族の介助、親の通訳などを支援し、子どもの負担を軽減します。</li> </ul>	<b>事業費</b>	4,528万2千円
----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------	-----------



ヤングケアラー実態調査(令和4年9月～10月実施)の結果から、家族の世話をしている子どもの多くが、自分の時間を確保できない状況であることが分かりました。

ヤングケアラーを支援する区の**2**つの取組



取組1

**家事・育児等支援**

訪問支援

■内 容 ・家事(掃除・洗濯・買物・料理 等) ・兄弟姉妹の世話  
・家族(高齢者・障害者等)の介助及び見守り

◇頻 度 午前7時から午後10時までの間、  
1日当たり3時間以内、週3回以内

配食支援

■内 容 ・定期的な弁当の配達

◇頻 度 家族一人当たり1日1食、週7回以内

配食支援は  
**23区初!**

**実態調査の結果** -----

世話をする頻度は「ほとんど毎日」が3割以上、平日「3時間未満」が約5割でした。


取組2

**外国語対応通訳派遣**


■内 容 買い物や手続きなどに同行し通訳 ◇頻 度 1回当たり4時間以内

**実態調査の結果** -----

父親、母親を世話する中学生の23%が「親が日本語が苦手だから」と回答しました。



支援家庭にはコーディネーターが定期的に訪問し、子どもと家庭の意向に寄り添ったきめ細かな支援を行います。

<b>問合せ</b> 	課 長	子ども家庭支援センター 石原
	☎	03-5962-7204(直通)
	係 長	子ども家庭支援センター 地域連携担当 高橋
	☎	03-5962-7204(直通)